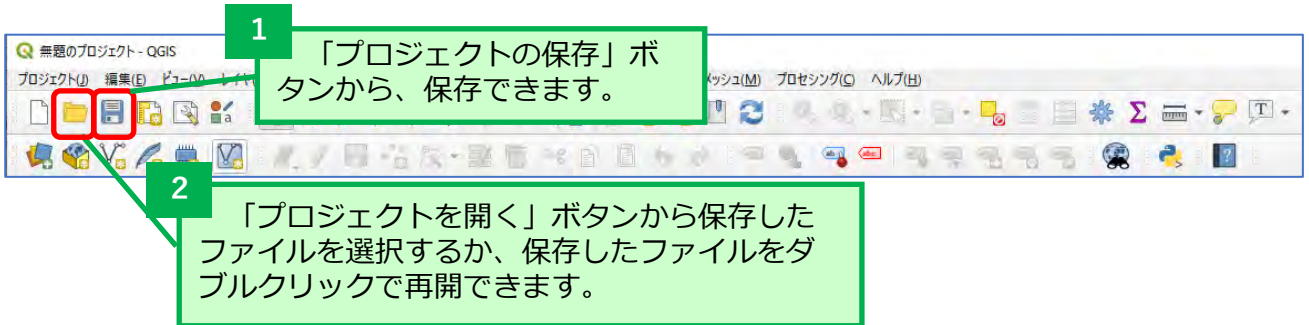


<QGIS : こんなときどうする? >

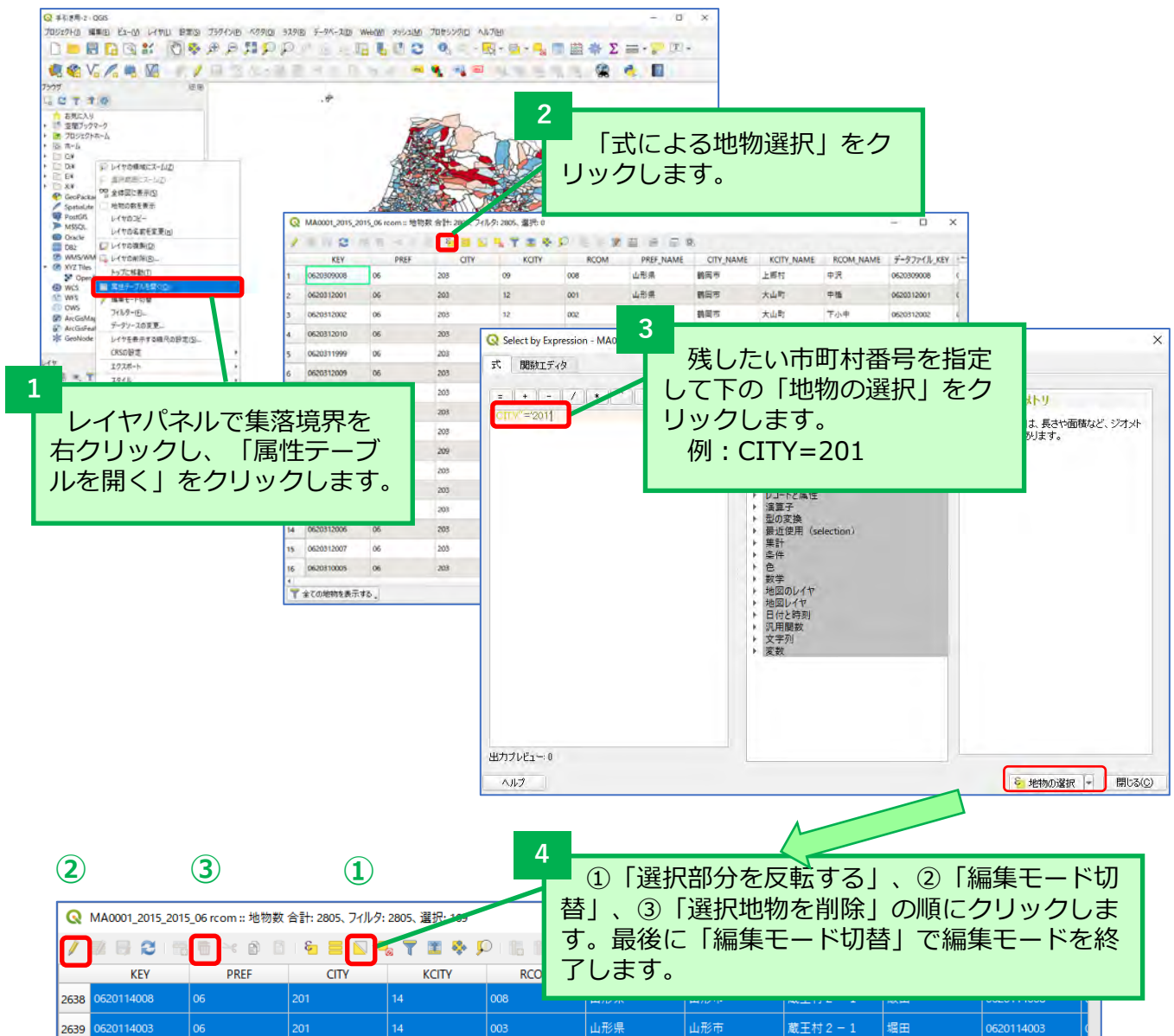
① 作業の途中で経過を保存したい

一般的なソフトウェアと同様に、「プロジェクトの保存」、「プロジェクトを開く」から作業の中断、再開ができます。

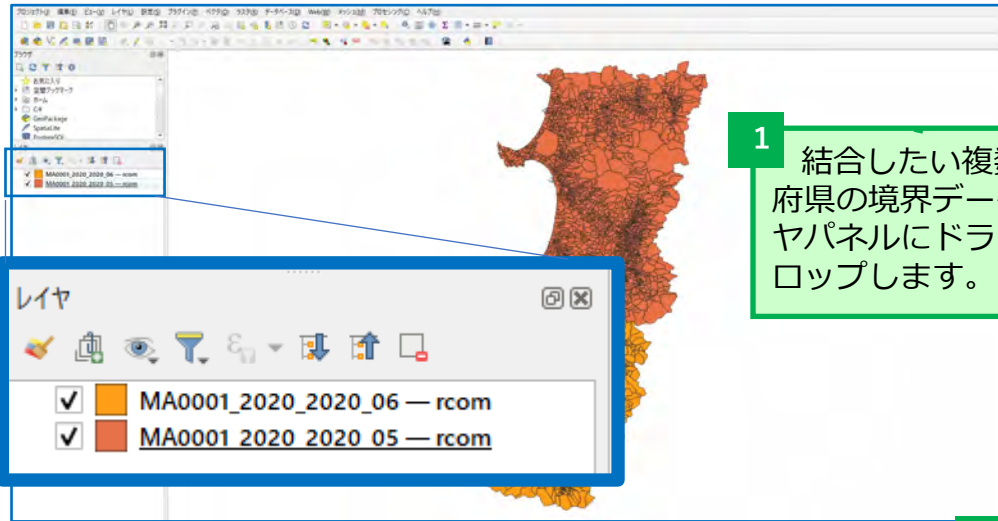


② 特定の市町村のみの地図を切り出したい

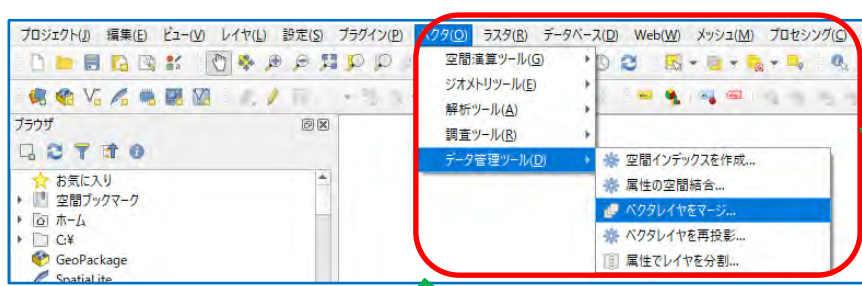
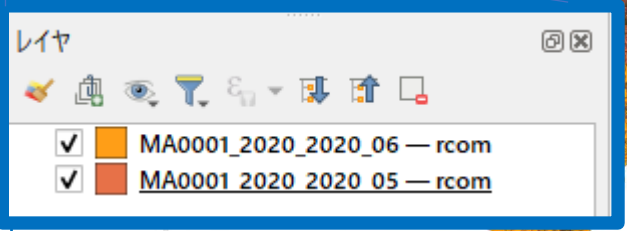
地図の属性情報から、該当市町村以外の地域を選択して削除します。



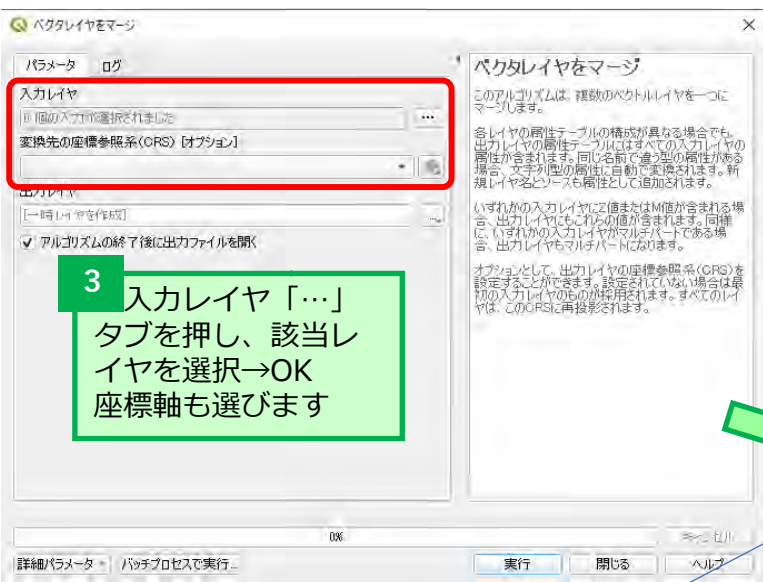
③ 複数の都道府県を1つの地図レイヤにしたい



1 結合したい複数の都道府県の境界データをレイヤパネルにドラッグ&ドロップします。



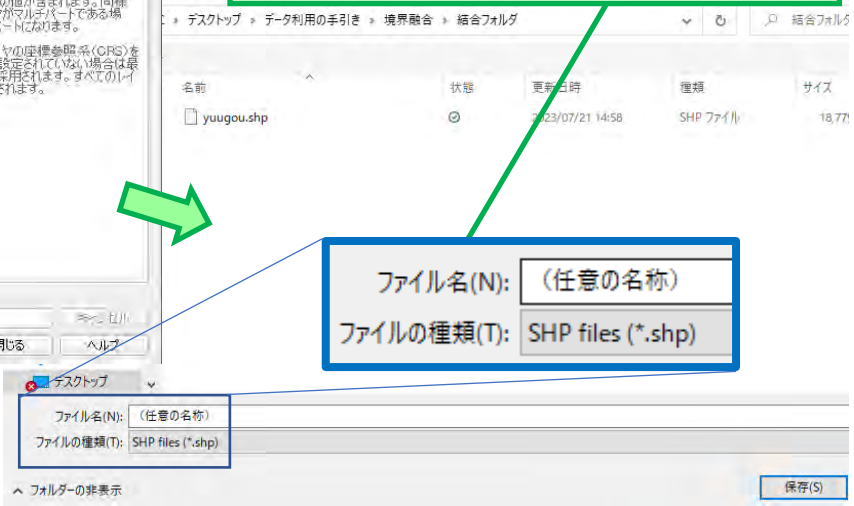
2 メニューから「ベクタ」>「データ管理ツール」>「ベクタレイヤをマージ」を選びます。



3 入力レイヤ「…」タブを押し、該当レイヤを選択→OK 座標軸も選びます

4 出力レイヤ「…」タブを押し、「ファイルを保存」から保存先を選択します。ファイル名を入力し、「ファイルの種類」を「SHP files (*.shp)」にします。その後、「保存」→「実行」の順にクリックします。

ファイル名(N): (任意の名称)
ファイルの種類(T): SHP files (*.shp)



5 選択した保存先に結合されたファイルが保存されます(今回の場合「結合フォルダ」というフォルダを作成し、ここに格納しました)。

名前	状態	更新日時	種類	サイズ
MA0001_2020_2020_05	📁	2023/07/21 14:14	ファイル フォルダ	
MA0001_2020_2020_06	📁	2023/07/21 14:13	ファイル フォルダ	
結合フォルダ	📁	2023/07/21 14:57	ファイル フォルダ	

④ 地図を印刷したい

用紙のイメージ上に地図や凡例を配置して、印刷を行います。

1 アイコン「新規印刷レイアウト」をクリックします。

2 OKをクリックします。

3 「地図を追加」、「凡例を追加」をクリックして、地図の描画領域上に配置します。

4 アイテム（追加した地図や凡例など）を右クリックし「アイテムのプロパティ」を選択し、それぞれの表示を調整します。用紙の設定は、地図の描画領域上で右クリックし、「ページのプロパティ」を選択しここで設定します。

5 印刷します。PDFや画像形式でも保存できます。

⑤ 地図を画像として保存したい

作業中の地図を画像ファイルとして出力します。凡例や縮尺をつけた画像ファイルが必要な場合は、「地図を印刷したい」の項目を見てください。

1 プロジェクトの「インポートとエクスポート」>「地図を画像にエクスポート」をクリックします。

⑥ 属性データが数値として扱えない

CSVファイルから文字列としてQGISに取り込まれた項目を数値に変換し、新しい属性データとして追加します。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックし「属性」を選択します。

2 「フィールド計算機」ボタンをクリックします。

Qstring : 文字列
int : 整数
double : 実数

3 「新規フィールドを作成」にチェックが入っていることを確認、「出力する属性(フィールド)の名前」は数値に変換したい項目の名前(任意の名前)を入力し、「フィールド型」は「小数点付き数値 (real)」を選択します。

4 式に「to_real("【項目名】")」と入力し、OKを押すと、データ変換した項目が追加されます。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

Id	名前	別名(Alias)	型	型名	長さ	精度
abo 0	KEY		QString	String	12	0
abo 1	PREF		QString	String	2	0
abo 2	CITY		QString	String	3	0
abo 3	KCITY		QString	String	3	0
abo 4	RCOM		QString	String	3	0
abo 5	PREF_NAME		QString	String	30	0
abo 6	CITY_NAME		QString	String	30	0
abo 7	KCITY_NAME		QString	String	30	0
abo 8	RCOM_NAME		QString	String	36	0
abo 9	RCOM_KANA		QString	String	64	0
123 10	HININTEI		qlonglong	Integer64	11	0
11	データファイル_基幹的農業従事者_49歳以下割合		double	double	10	3
12	データファイル_基幹的農業従事者_49歳以下割合		double	Real	0	0

⑦ 取り込んだデータから分析指標を作成したい

農業集落境界とリンクしたデータを組み合わせ、分析に用いる変数を作成します。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックし「属性」を選択します。

2 フィールドタブを選択し、「フィールド計算機」ボタンをクリックします。

3 「新規フィールドを作成」にチェックが入っていることを確認、「出力する属性(フィールド)の名前」に任意の名前を入力し、「フィールド型」を「小数点付き数値(real)」にします。

式に変数を作成する数式を入力します。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

id	名前	フィールド型	長さ	精度	
0	KEY				
1	PREF				
2	CITY				
3	KCITY				
4	RCOM	QString	String	3	0
5	RCOM_NAME	QString	String	30	0
6	KCOM_NAME	QString	String	30	0
7	RCOM_NAME	QString	String	30	0
8	RCOM_NAME	QString	String	36	0
9	RCOM_KANA	QString	String	64	0
10	HININTEI	qlonglong	Integer64	11	0
11	データファイル_65歳以上高齢的農業従事者割合	double	Real	0	0
12	データファイル_地域類型1次分類	double	Real	0	0

⑧ 集落の名称を表示したい

集落境界レイヤの表示設定を行って、農業集落名称を表示させます。

1 レイヤパネルで集落境界をダブルクリックします。

2 単一定義を選択して値に「RCOM_NAME」(農業集落名)を設定します。

項目名は、「フィールドと値」から選択できます。

市町村名と農業集落名など、複数の属性情報を表示する場合は、表示したい内容を式で指定します。

「||」は文字列の連結、
「¥n」は改行を意味します。

1 ラベルタブを選択して「E」ボタンをクリックします。

2 右の「フィールドと値」から項目を追加します。項目間には、「||」を入力します。

式 関数エディタ
"CITY_NAME" ||'¥n' ||
"KCCITY_NAME" ||'¥n' ||
"RCOM_NAME"

フィールドと値
feature
geometry
id
NULL
abb KEY
abb PREF
abb CITY
abb KCITY
abb RCOM
abb PREF_NAME
abb CITY_NAME
abb KCITY_NAME
abb RCOM_NAME
abb RCOM_KANA
123 HININTEI
1.2 データファイル_65歳以上高齢的...
1.2 データファイル_地域類型1次分類

⑨ 農業集落の属性情報を確認したい

選択した農業集落の情報を、サイドパネルに表示させます。

1 レイヤパネルで集落境界を選択します。

2 「地物情報表示」のアイコンをクリックします。

3 地図上で農業集落を選択するとサイドパネルに「地物情報」が表示されます。

地物情報
MA0001_02_ 値
PREF_N_ 山形県
ID_ 0
(アタ) 0620207002
PREF 06
CITY 202
KCCITY 027
RCOM 002
PRE_ 山形県
CITY_ 天安市
KCTI_ 三沢村
RCCL_ 赤芝
RCO_ あがしほ
HINL_ 0